

# 平成30年 呉市消防局管内の災害現況

## 火災

平成30年中の呉市消防局管内の火災件数は59件（10件増）となりました。火災による死者は2人（増減なし）で、負傷者は3人（2人増）となっています。また、火災の損害額は約4億8400万円（約3億7700万円増）で、そのうち建物火災における損害額は、約4億8000万円となっています。

注：( )内は平成29年との比較

### 一火災種別ごとの状況一

火災件数59件は、過去10年間の平均件数（約80件）を下回る件数となっています。火災種別ごとの増減を見てみると、建物火災は34件（4件増）、林野火災は3件（1件増）、車両火災は5件（1件増）、船舶火災0件（1件減）、その他の火災が17件（5件増）となっています。



### 一出火原因別状況一

出火原因の第1位は「たき火」で12件、第2位は「たばこ」の9件、第3位は「放火」の7件となっています。また、建物火災34件の出火原因のうち、第1位は、同件数（6件）で、「たばこ」及び「配線器具類」となっています。出火原因の「たばこ」は、毎年高い比率を占めており、たばこによる火災の多くは、喫煙者の火気管理がしっかりしていなかった場合や不注意等により発生していると言えます。たばこによる火災を防止するために次のことに留意してください。

- たばこの投げ捨てをしない。
- 寝たばこは絶対にしない。
- 火のついたままのたばこを放置しない。
- 必ず灰皿のある場所で喫煙し、その周囲は整理整頓してきましょう。

### 一住宅用火災警報器の効果一

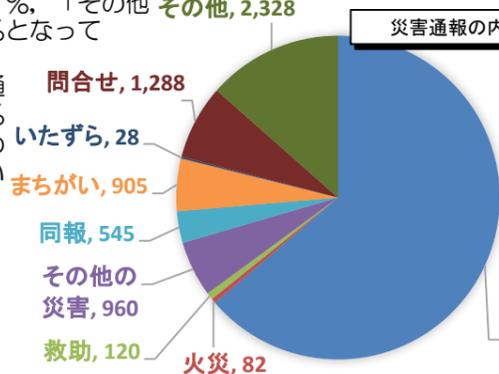
平成30年中に呉市では住宅用火災警報器の鳴動により、火災に至らなかった事案が2件ありました。また、呉市だけではなく、全国の住宅火災における被害は住宅用火災警報器が設置されている場合は、設置されていない場合に比べ、大幅に火災による被害を軽減しており、住宅火災において住宅用火災警報器は高い効果があることが分かっています。

## 災害通報

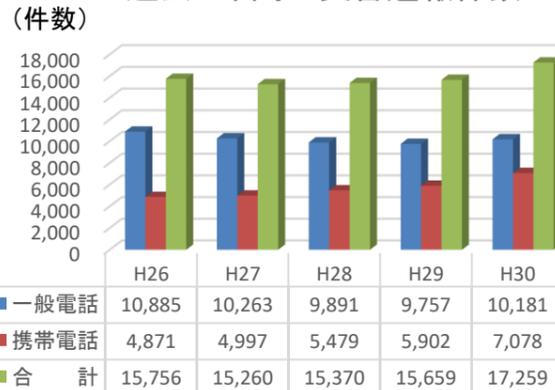
呉市消防局が受信した119番などの災害通報は17,259件で、前年に比べ1,600件増加しており、1日平均約47件、市民の約13人に1人が通報したことになります。

内訳としては、火災や救急に関する通報が最多で約64%、続いて、「問合せ」は、約7%、「その他 2,328の災害」は、約6%となっています。

携帯電話からの通報は全体の約41%で、通報全体に占める比率は増加しています。



### 過去5年間の災害通報件数



## 救急

平成30年中の救急出動件数は11,411件（202件増）、また、搬送人員は10,109人（33人減）でした。これは、救急隊が1日当たり約31回、約47分に1回の割合で出動し、市民の約22人に1人が救急搬送されたこととなります。

注：( )内は平成29年との比較

### 一事故種別出動件数一

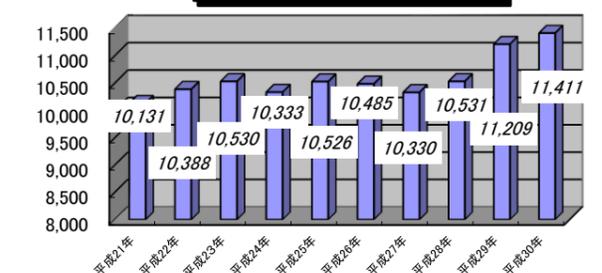
救急出動件数は、過去最高の件数となりました。（平成29年の11,209件を更新）原因は、呉市の高齢化率の上昇と考えられます。平成30年中の事故種別のうち、高い比率を占めたのは急病の7,086件で全体の約62%を占めています。次に、一般負傷が1,771件、続いて転院搬送が1,242件、交通事故が746件となっています。また、救急車による搬送人員は10,109人でした。この中で、高齢者（65歳以上）の方が、7,305人と、全体の約72.3%を占め、年々比率が高くなっています。

救急車の必要なケガや病気の中には、ほんの少しの注意や心がけで防げるものもあります。家庭内での転倒防止や普段からの健康管理に注意しましょう。

### ●救急出動・搬送人員（傷病者のみ）

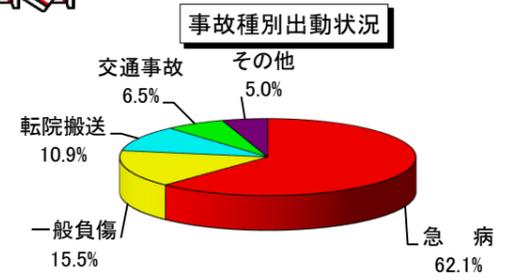
区分	平成30年		平成29年	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
呉市	11,411	10,109	11,209	10,142

### 過去10年間の救急出動件数の推移



### ●事故種別出動件数状況

事故種別	平成30年		平成29年	
	出動件数	比率	出動件数	比率
急病	7,086	62.1%	6,919	61.7%
一般負傷	1,771	15.5%	1,849	16.5%
転院搬送	1,242	10.9%	1,197	10.7%
交通事故	746	6.5%	766	6.8%
その他	566	5.0%	478	4.3%
合計	11,411	100.0%	11,209	100.0%

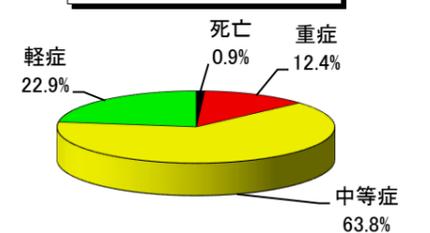


### ●傷病程度別搬送人員状況

傷病程度	平成30年		平成29年	
	搬送人員	比率	搬送人員	比率
死亡	96	0.9%	94	0.9%
重症	1,258	12.4%	1,171	11.5%
中等症	6,445	63.8%	6,524	64.3%
軽症	2,310	22.9%	2,352	23.2%
その他	0	0.0%	1	0.0%
合計	10,109	100.0%	10,142	100.0%

※ 比率については、四捨五入のため合計が必ずしも100%になりません。

### 傷病程度別搬送人員状況



### ●年齢区分別搬送人員状況

年齢区分	平成30年		平成29年	
	搬送人員	比率	搬送人員	比率
新生児	9	0.1%	15	0.1%
乳幼児	239	2.4%	282	2.8%
少年	224	2.2%	272	2.7%
成人	2,332	23.1%	2,402	23.7%
高齢者	7,305	72.3%	7,171	70.7%
合計	10,109	100.0%	10,142	100.0%

※ 比率については、四捨五入のため合計が必ずしも100%になりません。

### 年齢区分別搬送人員状況

